

株式会社森久

需要が高まっている不燃・準不燃木材を製造販売。
不燃薬液の含浸装置を新規導入し、大きな木材や
大量受注にも対応できる体制を築いた

取り組みの経緯

不燃・準不燃木材「森フネンウッド」を製造販売している。これは不燃薬液を木材に染み込ませ、建物の壁や床材として使用されている。火災になった場合に燃えにくいため、避難の時間を確保できるようになるのが一番の利点だ。発生する煙から有害物質を出さない安全な薬液を使い、燃焼時の発熱量などを測定するコーンカロリーメーター機を用いて、品質と安全性を追求している。国土交通大臣認定の素材だ。優れた防蟻・防腐効果も期待できる上、木の質感も損なわれないため、自然の風合いや温もりも感じられる。

主に公共施設の内装材として使われるため、一つの発注に対して製造数量が多く、納期までの早さも求められる。当初は1日あたりの製造量が少なかったため、大量受注に対応できないという悩みがあった。そこで大型不燃液含浸設備を導入し、量産体制を整えることとした。



天然木の無垢材を使用しているので、木目の美しさが際立っている

事業の具体的内容及び効果

「森フネンウッド」を製造するには材料を厳選し、認定に合った薬剤と製法で加圧しながら浸透させる。今回導入した真空加圧含浸装置は、直径1・6㍓、奥行きはサブロク板（1800㍓×900㍓）にも対応できる。また、40日間かかっていた処理が10日でできるようになり、今までの4倍の製造量を確保できた。

薬剤を含浸させた後、低温で木材を乾燥させる遠赤低温乾燥機は製造量の増加に伴い、施設を増設した。最後は、木工機で壁や天井に貼るための羽目板や羽板（幅の細い薄い板）など、多様な形状に仕上げていく。

新しい機械の導入により製造量が飛躍的に増え、大きな木材も加工できるようになった。新しい製品の開発にも着手できるようになった。



今回導入した真空加圧含浸装置。従来の装置と合わせ、発注に合わせて2基稼働させている

株式会社森久

〒319-0123 小美玉市羽鳥2893-1
TEL.0299-56-4474 FAX.0299-56-4475
http://farm-morikyu.main.jp
資本金：500万円
従業員：6名

国土交通省大臣認定の不燃・準不燃木材「森フネンウッド」を製造販売。木の温かみと安全性を兼ね備えた木材として、公共施設などにも取り入れられている。

事業概要

大型不燃液含浸設備の導入による高生産性不燃木材の製造プロセスを構築したことで、現在の試作製作から量産体制を具現化し、拡大する需要に対応。顧客満足の上昇と自社ブランド力の強化につながる効果が得られた。



工場の2階に遠赤低温乾燥機を設置し、製造量の増加に対応



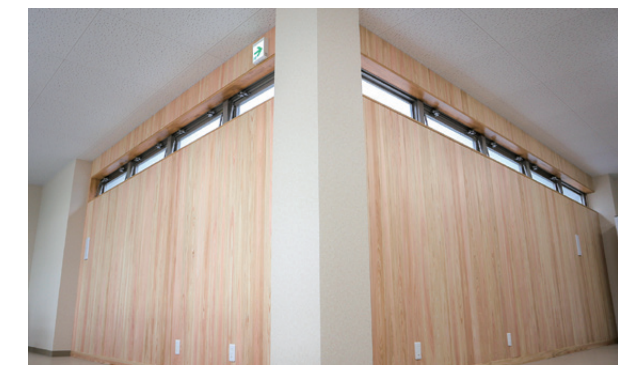
目的に合わせて木材をカットして仕上げる

事業成果の活用・今後の取り組み

この成果を受け、今後は従業員全員が材料である木材の特性などを理解し、身に付けた技術・ノウハウで製品レベルの向上を図り、他社との差別化をしていきたいと考えている。

また、不燃化が難しいとされている材料の開発や、エンドユーザーが求める製品づくりにも取り組みたいという。官公庁や美術館、保育園・幼稚園など、多くの人が利用する施設に木のぬくもりがあり、万一火災が発生しても燃えにくい素材を提供できるのは魅力だ。

以前から携わっている内装業の経験も生かし、公共施設はもちろん、設計事務所などの顧客も増やしていきたいという。



伊藤 哲巳さん
株式会社森久
代表取締役社長

『森と生きる』をモットーとし、木材本来の特徴である温もりや質感を残しながら不燃化させることで、安心安全も供給できるようになった。以前から携わっている内装業で培った製品の仕上がりを意識しながら、不燃木材を普及させていきたい」